

第6期福岡市男女共同参画審議会
第3回男女平等教育・地域支援部会（平成27年8月19日）

26年度実施状況に対する審議会意見（案）

重点評価項目	
基本目標 1	男女平等教育の推進
基本目標 6	地域における男女共同参画推進活動の支援

〔判定区分〕

【達成度】

- A：90%以上（十分達成している）
- B：70%以上（ある程度達成しているが一部課題が残る）
- C：50%以上（達成が不十分であり改善を要する）
- D：50%未満（達成にはほど遠く見直しを要する）

【今後の方向性】

- 継続（計画どおりに実施する）
- 充実（取組を更に充実する）
- 拡充（新たな取組を追加する）
- 再構築（取組の抜本的な見直しを行う）

〔3 施策の実施状況〕

平成26年度の「事業実績」を記載している。
継続事業については、進捗状況を明らかにするためく　　で平成25年度の「事業実績」も合わせて記載している。

重点評価項目 進行管理票

I 事務局記入欄	1 重点評価項目	男女平等教育の推進																																																
	2 基本目標	1 男女平等意識が浸透した社会を目指します。																																																
	3 施策の実施状況	<p>子どもの頃から性別にとらわれない自己形成ができるよう、中学生向け出前セミナーを実施するなど、学校教育における男女平等教育を推進するとともに、あらゆる教育関係者を対象に男女共同参画の意識啓発のための研修を実施した。</p> <p>○小・中学生向け男女平等教育副読本の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生向け:はらっば 発行部数:15,000部 活用率: 92.3%<96.6%> ・中学生向け:わたしらしく生きる 発行部数:14,000部 活用率: 50.7%<39.1%> <p>○男女混合名簿の採用 採用率 小学校: 98.6%<99.3%> 中学校: 52.2%<56.5%></p> <p>○中学校における職場体験学習の実施 参加学校数及び生徒数: 69校(100%) 12,098人<11,820人> 受け入れ事業所数: 3,465事業所<3,388事業所></p> <p>○大学・企業・地域・市の連携による中学生向け出前セミナーの実施 実施校数: 23校<19校></p> <p>○教職員への男女平等教育研修の実施 参加者数: 225人<226人> 講演「ジェンダーの視点から学校現場を見る」 講師:村本 邦子氏(立命館大学応用人間科学研究科教授) 実践発表「はらっば」を使った男女平等教育の実践 発表:東 義隆氏(小笹小学校教諭)</p> <p>○教頭2年次研修の実施 参加者数: 48人<33人></p> <p>○公民館、区役所職員への研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新任公民館職員研修 実施回数及び参加者数:1回34人<1回32人> ・公民館運営研修 東区・博多区・早良区各1回、計148人 <東区・博多区各1回、計99人> ・区男女共同参画推進担当職員研修 参加者数: 9人<8人> 「男女共同参画基礎講座」 																																																
	4 数値目標、参考指標	<p>(指標) 男女平等教育副読本活用率:小学校向け「はらっば」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>初期値</th> <th>目標値</th> <th colspan="5">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.8%</td> <td>100.0%</td> <td>95.1%</td> <td>93.8%</td> <td>96.6%</td> <td>92.3%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(平成22年度)</td> <td>(平成27年度)</td> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成24年度)</td> <td>(平成25年度)</td> <td>(平成26年度)</td> <td>(平成27年度)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(指標) 男女平等教育副読本活用率:中学校向け「わたしらしく生きる」</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>初期値</th> <th>目標値</th> <th colspan="5">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43.5%</td> <td>50.0%</td> <td>32.8%</td> <td>33.8%</td> <td>39.1%</td> <td>50.7%</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(平成22年度)</td> <td>(平成27年度)</td> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成24年度)</td> <td>(平成25年度)</td> <td>(平成26年度)</td> <td>(平成27年度)</td> </tr> </tbody> </table>							初期値	目標値	実績					91.8%	100.0%	95.1%	93.8%	96.6%	92.3%	-	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)	初期値	目標値	実績					43.5%	50.0%	32.8%	33.8%	39.1%	50.7%	-	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)
	初期値	目標値	実績																																															
	91.8%	100.0%	95.1%	93.8%	96.6%	92.3%	-																																											
	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)																																											
	初期値	目標値	実績																																															
	43.5%	50.0%	32.8%	33.8%	39.1%	50.7%	-																																											
	(平成22年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)																																											
5 評価区分	(1) 達成度			(2) 今後の方向性																																														
6 判定	B			充実																																														
7 判定理由・根拠	<p>○中学校における混合名簿の採用率及び中学校向け副読本の活用率については、5割は超え、目標値を前倒しで達成しているものの、依然として低い状況にある。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを23校で実施した。また、受講した中学生の約80%が、男女共同参画について「よくわかった・まあわかった」と回答しており、若年層への性別にとらわれないキャリア形成への意識啓発に一定の成果を上げている。</p> <p>○教職員や公民館職員・区役所職員を対象に研修を実施し、学校教育や地域における男女共同参画推進に努めた。</p>																																																	
8 懸案事項・課題	<p>○中学校における副読本の活用や混合名簿の採用について、教育現場の実態を把握・分析したうえで、活用及び採用の向上に取り組む必要がある。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを平成25年度から3年間で市内全69校で実施することとしているが、28年度以降の実施について検討する必要がある。</p> <p>○教職員や公民館・区役所職員への研修を一層充実させる必要がある。</p>																																																	
9 今後の取組	<p>○男女平等教育研修会において副読本の活用事例等を提示し、教職員への周知や理解を図るとともに、校長・園長連絡会等において、混合名簿の採用を進めるよう指導していく。</p> <p>○中学生用副読本について、近年の社会情勢を反映した内容への見直しを検討する。</p> <p>○中学生向け出前セミナーを引き続き実施するとともに、教職員や公民館・区役所職員への研修の充実を努める。</p>																																																	

評価	(1) 達成度	(2) 今後の方向性
		B
II 審議会 記入欄	【審議会意見】	
	<p>中学校における副読本の活用や混合名簿の採用については、目標は達成しているものの依然として取組が不十分である。中学生用副読本については、家庭科や立志式、道徳のカリキュラムとして位置づけるなど、活用率を上げるための工夫をするとともに、検討委員会において分かりやすく使いやすい内容に見直し、早期に改訂されたい</p> <p>また、中学生向け出前セミナーについては、中学生アンケートの結果などから有意義であったと評価ができる。男女共同参画について学び、性別にとらわれない職業選択について考えることは大事な機会である。</p> <p>中学校在学中に全員が男女共同参画について学ぶ機会を得られるよう、今後とも各施策を充実していただきたい。</p>	

重点評価項目 進行管理票

I 事務局記入欄	1 重点評価項目	地域における男女共同参画推進活動の支援																										
	2 基本目標	6 地域において男女が共に支えあい、安心して暮らせる社会を目指します																										
	3 施策の実施状況	<p>福岡市男女共同参画週間「みんなで参画ウィーク」にあわせて、各校区において男女共同参画推進の取組が実施されるよう支援するとともに、他校区に先行したモデル校区の取組を通して地域の女性リーダー育成や、アマカス寸劇隊の派遣などにより、地域における男女共同参画推進に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域における主体的取組への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで参画ウィーク(福岡市男女共同参画週間)」にあわせた校区取組への支援 コーディネーターの派遣 10校区<12校区> ・週間やシンボルマークを活用した広報・啓発 ○モデル校区地域リーダー育成塾の実施 モデル校区(東区若宮校区、城南区堤地区) <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイザーの派遣(男女共同参画推進サポーター 各校区2名) ・報告会の開催 参加者数 171人<163人> 内容：第1部 モデル校区活動報告(2校区) 第2部 講演:強くやさしい社会を実現するために～次世代へのメッセージ～ 講師:筑波大学大学院体育系准教授・柔道家 山口 香氏 ○七区男女共同参画協議会の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・七区男女共同参画協議会代表者会の開催 4回<4回> ・各校区の男女共同参画研修会実施調査 ○男女共同参画出前講座の実施 15件 405人<32件 1,131人> ○アマカス寸劇隊の派遣 17件<8件> ○公民館、区役所職員への研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・新任公民館職員研修 実施回数及び参加者数:1回34人<1回32人> ・公民館運営研修 東区・博多区・早良区各1回、計148人 <東区・博多区各1回、計99人> ・区男女共同参画推進担当職員研修 参加者数:9人<8人> 																										
	4 数値目標、参考指標	<p>(指標) 「みんなで参画ウィーク」の取組を実施した校区数</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 12.5%;">初期値</th> <th style="width: 12.5%;">目標値</th> <th colspan="5">実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23校区</td> <td>146校区</td> <td>23校区</td> <td>120校区</td> <td>138校区</td> <td>136校区</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成27年度)</td> <td>(平成23年度)</td> <td>(平成24年度)</td> <td>(平成25年度)</td> <td>(平成26年度)</td> <td>(平成27年度)</td> </tr> </tbody> </table>						初期値	目標値	実績					23校区	146校区	23校区	120校区	138校区	136校区	-	(平成23年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)
	初期値	目標値	実績																									
	23校区	146校区	23校区	120校区	138校区	136校区	-																					
	(平成23年度)	(平成27年度)	(平成23年度)	(平成24年度)	(平成25年度)	(平成26年度)	(平成27年度)																					
	5 評価区分	(1) 達成度			(2) 今後の方向性																							
	6 判定	B			充実																							
7 判定理由・根拠	<p>○みんなで参画ウィークの広報・啓発に努めるとともに、コーディネーター派遣等、校区の取組への支援を実施し、ほぼ全校区である136校区で主体的な取組が実施された。</p> <p>○モデル校区2校区において、校区の状況や課題に応じた地域の女性リーダー育成に先行して取り組むとともに報告会を開催するなど、女性リーダー育成に一定の成果は上がっている一方で、地域の諸団体の長等への女性の参画は十分とは言えない。</p>																											
8 懸案事項・課題	<p>○「みんなで参画ウィーク」の取組が、自治協議会等を中心とする校区全体の取組として、全校区で実施されるよう、地域への支援を充実させる必要がある。</p> <p>○地域における男女共同参画推進は校区の主体的な取組により実施されており、校区の実情や課題に応じた女性リーダー育成に取り組む必要がある。</p>																											
9 今後の取組	<p>○「みんなで参画ウィーク」が地域に定着するよう広報・啓発に努めるとともに、地域における男女共同参画推進の取組が、全市的に広がりを持って展開されるよう、七区男女共同参画協議会と連携し、地域の主体的な男女共同参画推進活動を支援する。</p> <p>○モデル校区において校区の実情や課題に応じた実践的な取組を自治協議会全体の取組として実施するとともに、その成果を発表する報告会を開催し市内全校区への情報共有を図るなど、地域の女性リーダー育成に取り組む。</p>																											

評価	(1) 達成度	(2) 今後の方向性
		B
II 審議会 記入欄	【審議会意見】	
	<p>政策・方針決定過程への女性の参画拡大に向けた国の目標「2020年30%」を掲げて、地域における諸団体の長への女性の参画を促進するよう、市から働きかけていただきたい。</p> <p>さらに、公民館において年1回は男女共同参画講座を実施するよう市から働きかけるとともに、公民館館長や職員に男女共同参画の必要性について理解を深めてもらうための研修を実施していただきたい。</p> <p>また、「みんなで参画ウィーク」の取組を引き続き充実させるとともに、活動ハンドブックの活用等により、各校区の活動内容の充実のための支援を行っていただきたい。</p>	